

一次評価の評価項目・評価基準（東京国際クルーズふ頭）

【資料1】

大項目	中項目	確認項目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置（配置数、配置箇所、専門性等）	×1			
		人材育成の取組（専門性向上）	×1			
		施設の使用許可等（公平な利用者選定）	×1			
		施設の維持補修・修繕	×1			
		施設の警備	×1			
		施設の清掃	×1			
		施設の緑地管理	×1			
	施設の維持管理	×1				
	【評価の内容】					
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災・防犯への配慮	×1			
		施設・設備の安全性の確保	×2			
		事件・事故への対応	×1			
	【評価の内容】					
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
個人情報保護・情報公開の取組（内部規定の策定、研修等）		×1				
各種法令等の遵守		×1				
利用記録等各種情報の管理		×1				
情報事故への対応		×1				
【評価の内容】						
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	収支状況	×1				
	経理処理	×1				
	都有財産等（物品・現金等）の管理	×1				
	経理・現金に関する書類等の管理	×1				
【評価の内容】						
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		客船受入時の関係者との調整	×2			
		乗客誘導方法	×2			
		車両誘導方法	×2			
		重要国際埠頭施設の警備	×2			
		広報活動	×2			
	【評価の内容】					
	施設の魅力向上	事業計画に沿って施設の魅力向上に取り組んでいるか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		客船寄港時の魅力向上策	×2			
		客船寄港時以外の魅力向上策	×2			
	【評価の内容】					
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応（職員の親切さ、説明の分かりやすさ等）	×2			
		客船受入の対応（乗客、車両誘導の円滑さ等）	×2			
		施設の使いやすさ	×2			
		利用料金の水準	×2			
施設の利活用の企画内容		×2				
【評価の内容】						
行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	都及び関係機関等との連携	×2				
	都の実施策への協力	×2				
【評価の内容】						

特 記 事 項	
要 改 善 事 項	

**【一次評価結果】**

評 点	標準点	評価基準				一次評価結果	得 点
		S	A	B	C		
48点	64点以上	63点以下 60点以上	59点以下 43点以上	42点以下			

**【確認事項】**

1. 財務状況

指 定 管 理 者 の 財 務 状 況	
------------------------	--

管理運営状況の一次評価結果（東京国際クルーズふ頭）

大項目	中項目	確認項目				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		人員配置（配置数、配置箇所、専門性等）	×1	○		
		人材育成の取組（専門性向上）	×1		○	
		施設の使用許可等（公平な利用者選定）	×1		○	
		施設の維持補修・修繕	×1	○		
		施設の警備	×1	○		
		施設の清掃	×1	○		
		施設の緑地管理	×1		○	
		施設の維持管理	×1		○	
	【評価の内容】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本協定、管理運営基準、業務実施計画等に基づき適切に履行されており、管理上必要な修繕も適切に行われている。</li> <li>人員配置では、客船の増加に合わせて、柔軟かつ効率的な勤務体制を構築した。</li> <li>コロナ禍以降、客船が増加していく中で、ボーディングブリッジの故障に対し、機敏な対応をしており、施設の停滞を防いだ。また、防舷材のゆるみが判明した際も工事を実施し、船舶への影響も事前に防いでおり、都の重要施設としての指定管理者の責務を果たしている。</li> <li>警備においては、諸外国の艦船寄港時は24時間体制での有人警備とするなど都と連携し柔軟な配備を実施し、安全面の確保に努めている。</li> <li>清掃では、毎月、定期及び特別清掃を実施。高い技能を持つ人員（ビルクリーニング技能士2名等）を配備し、客船のオーバーナイト等においても早朝や夜間にも清掃対応を行い、清潔な環境に努めた。利用者アンケートからも清潔感において98%と高評価を得ている。</li> </ul>					
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		防災・防犯への配慮	×1		○	
		施設・設備の安全性の確保	×2	○		
		事件・事故への対応	×1		○	
	【評価の内容】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>災害対策マニュアル及び緊急連絡体制が整備されており、年2回消防訓練の他、年2回英語、中国語含めた避難誘導訓練及び非常放送訓練により実践的な訓練を実施し、災害による停電時でも提供可能な自販機を配備している。</li> <li>熱中症予防を目的にボーディングブリッジ及びターミナル施設のガラスに遮熱コーティングを実施した。また、キャリアケース車輪の脱輪防止のためグレーチングを交換するなど安全性の確保に取り組んでいる。</li> </ul>						
法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	個人情報保護・情報公開の取組（内部規定の策定、研修等）	×1		○		
	各種法令等の遵守	×1		○		
	利用記録等各種情報の管理	×1		○		
	情報事故への対応	×1		○		
【評価の内容】						
社内規程等が整備され、情報セキュリティ研修を実施するなど取り組んでおり、情報に係る事故は起きておらず、法令等も順守されている。						
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	収支状況	×1		○		
	経理処理	×1		○		
	所有財産等（物品・現金等）の管理	×1		○		
	経理・現金に関する書類等の管理	×1		○		
【評価の内容】						
経理処理及び財産管理は、関係書類等が整理され、社内の自主監査を実施しており適切に対応している。						
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		客船受入時の関係者との調整	×2	○		
		乗客誘導方法	×2	○		
		車両誘導方法	×2		○	
		重要国際埠頭施設の警備	×2		○	
		広報活動	×2		○	
	【評価の内容】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>客船寄港実績は前年度から4割超増加（50→73隻、74→106日）している中、施設では初の2隻同時接岸、前倒し入港の事例も発生し、船舶代理店及び警備部門等と会議を開催し、乗下船動線、スケジュール、館内レイアウト、イベント等の調整を行ったことで円滑な運用ができています。また、特に安全かつ効率的なオペレーションが求められる3000人超の大型客船の寄港が前年度から大幅に増加（1隻→10隻）している中、待機レーンを設置するなど誘導方法を工夫している。</li> <li>車両誘導では、隔地駐車場の留め置き利用者向けに、駐車場へのアクセスについて車内からの動画をYOU TUBEにて掲載し、わかりやすい誘導を試みている。タクシー運転手向けの専用Xアカウントによりタクシープールの待機状況のライブ配信やタクシー利用台数予測を告知するなど、配車の確保に努めている。</li> <li>重要国際埠頭施設として、警備対応を保安対策訓練を通じ確認を行い、国の立ち入り検査に加え、海外の警備隊による保安対策の取組状況の現地調査にも対応している。</li> </ul>					
	施設の魅力向上	事業計画に沿って施設の魅力向上に取り組んでいるか	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		客船寄港時の魅力向上策	×2	○		
		客船寄港時以外の魅力向上策	×2		○	
		【評価の内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の魅力向上を目的に、外国人旅行者向けに日本の魅力を体験できる抹茶点でイベントや着物着付体験を実施、館内では、甲冑、浮世絵などを配置し空間演出に努めている。また、旅行者のニーズに対応すべく、商品を選定し免税販売を行うとともに、新たにフライトインフォメーション情報を提供している。</li> <li>客船寄港時以外の施設の利活用を目的に、イベントの開催や外国艦船入港時には臨時売店の出店、全館を利用しイベントを実施したイタリア艦船入港時には、事前会議等を通じ、イベントの成功を導くことができています。</li> </ul>					
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点
		職員の接客対応（職員の親切さ、説明の分かりやすさ等）	×2		○	
		客船受入の対応（乗客、車両誘導の円滑さ等）	×2		○	
施設の使いやすさ		×2		○		
利用料金の水準		×2		○		
施設の利活用の企画内容		×2		○		
【評価の内容】						
一般来館者や船舶代理店からはおおむね高い評価が得られている。問い合わせ等には適切に対応し、アンケートや対応記録等は整理、保管されている。						
行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。	配点	水準を上回る 2点	水準どおり 1点	水準を下回る 0点	
	都及び関係機関等との連携	×2	○			
	都の実施策への協力	×2		○		
	【評価の内容】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>東京の海の玄関口として外交・親善活動のために各国の艦船を受け入れ、イベント開催に係る事前協議や視察に協力し、円滑な利用に導いている。</li> <li>都のイベント開催会場として各種運営や都の施策による施設管理にも協力している。また、テロ訓練、検疫感染症措置訓練の実施やターミナル周辺期間である東京臨海高速鉄道、ゆりかもめ等の関係機関とも連携を図っている。</li> <li>クルーズ客船誘致受入連絡会の参加やオーストラリア客船ターミナルの視察を行い情報共有を図っている。</li> </ul>						

特記事項	<p>コロナ禍の特別措置が終了し年間を通じて通常生活に戻り、客船数は昨年度比の4割超増加、来館者数250%増となった中、同時2隻着岸や前倒し入港など従来にない対応や3000人超の大型客船の受入れにおいても、運営スタッフのみならず警備、清掃等にも対応し、関係機関と綿密に事前調整を行うことで、円滑なオペレーションが行われている。</p> <p>突発的な施設の故障においては、迅速に対応し、施設の維持に努め、施設管理者としての責務を果たしている。また、施設の魅力向上にも積極的に取り組み、外国人旅行者向けに日本の魅力を体験できるイベントや館内の空間演出に努め、臨時売店の出店も行い、利用者の評価に繋げている。</p>
要改善事項	

【一次評価結果】

評 点	標準点	評価基準				一次評価結果	得点	A
	48点	S	A	B	C		62点	
		64点以上	63点以下 60点以上	59点以下 43点以上	42点以下			

【確認事項】

1. 財務状況

指定管理者の財務状況	別紙「事業者の財務状況の確認」とおり、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。
------------	---

## 指定管理者の管理運営状況評価について

### 第 1 一次評価（所管局による評価）

#### (1) 確認項目の評価基準

評価に当たっては、施設の設置目的や指定管理者が果たすべき役割などを踏まえ、各確認項目について、「水準を上回る（2点）」、「水準どおり（1点）」及び「水準を下回る（0点）」の3段階で評価を行う。

各確認項目について、施設の管理運営において所管局が求める水準を評価水準として定め、なるべく客観的な事実及び情報に基づき、達成状況を分析する。

#### (2) 一次評価の評価基準

各確認項目の評価の得点の合計点に基づき、一次評価を決定する。

<東京国際クルーズふ頭>

大項目	項 目		確認項目数
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	8
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか	3
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか	4
	適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか	4
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか	5
	施設の魅力向上	事業計画に沿って施設の魅力向上に取り組んでいるか	2
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか	5
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか	2
合 計			33

#### (3) その他

一次評価では、確認項目の評価のほか、指定管理者の財務状況に関して、分析等を行う。

### 第 2 二次評価（評価委員会による評価）

#### (1) 評価の内容

評価委員会は、施設の設置目的、所管局の示した管理運営において求める水準、指定管理者が果たすべき役割などを踏まえた上で、各種資料を基に、一次評価の内容について検証し、管理運営状況、事業効果その他について客観的・専門的な評価を行う。

更に評価委員会は、公の施設の設置目的を最大限発揮させていくという観点から、所管局に対して指定管理者のサービス水準の向上、効率的な運営の推進等に関する助言を行うことができる。

#### (2) 二次評価の評価基準

二次評価は、次の4段階で決定する。

評価	内 容
S	管理運営が優良であり、特筆すべき実績・成果が認められた施設
A	管理運営が良好であり、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設
B	管理運営が良好であった施設
C	管理運営に良好ではない点が認められた施設

「S」評価は、特に優れた取組を行い、成果をあげている指定管理者を評価するために用いることとする。よって、「S」と位置づける場合は、指定管理者の取組や成果が真に当該評価に該当するものであるか、十分に検証することとする。

### 第3 総合評価

所管局は、一次評価及び二次評価結果に基づき、総合評価を決定する。

■ 事業者の財務状況の確認

【資料4】

対象施設		東京国際クルーズふ頭	指定管理者	東京国際クルーズターミナル グループ (東京港埠頭株式会社)
確認項目	確認内容	意見・検討内容等		
事業者 財務 状況	経営資本営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時を下回っている。		
	経営資本回転率 (回)	率、ランクとも選定時と同等の水準を維持している。		
	売上高営業利益率 (%)	率は選定時を下回っているが、ランクは選定時と同等である。		
	流動比率 (%)	率は選定時を上回っているが、ランクは選定時と同等である。		
	自己資本比率 (%)	率は選定時を上回っているが、ランクは選定時と同等である。		
	固定資産長期資本比率 (%)	率は選定時を下回っており、ランクは選定時を上回っている。		
	総 評	令和6年度も選定時（令和元年度）同様に、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。		

## (1) 損益計算書 (東京港埠頭株式会社 損益計算書)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
売上高(営業収益) A	18,378,877	18,324,126	19,095,836
売上原価 B	14,600,973	15,514,972	16,029,666
販売費及び一般管理費 C	751,191	724,497	807,021
[営業利益] D=(A-(B+C))	3,026,712	2,084,657	2,259,149

## (2) 貸借対照表 (東京港埠頭株式会社 貸借対照表)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
流動資産 a	28,457,496	37,009,245	54,347,063
事業資産 b			
事業資産建設仮勘定 c			
固定資産 d	72,134,857	60,557,510	59,401,687
うち建設仮勘定 d-2	762,822	2,546,451	4,594,782
うち投資その他の資産 d-3	8,697,850	7,970,745	8,969,416
繰延資産 e	0		
[資産の部 計] E=(a+b+c+d+e) E=(a+d+e) (H20～)	100,592,354	97,566,755	113,748,750
流動負債 f	5,916,374	5,702,485	5,746,086
固定負債 g	35,545,811	25,907,704	25,343,729
引当金 h			
[負債の部 計] F=(f+g+h) F=(f+g) (H20～)	41,462,185	31,610,190	31,089,816
資本金 i	16,855,000	16,855,000	24,379,618
羽田沖浅場維持管理基金 j			
資本剰余金 l	14,435,904	14,435,904	21,960,522
利益剰余金 k	27,839,263	34,665,660	36,318,793
評価・換算差額等その他 n	0	0	0
[純資産の部 計] G=(i+j+k) G=(i+l+k+n) (H20～)	59,130,168	65,956,564	82,658,934
[負債・純資産の部 計] H=(F+G)	100,592,354	97,566,755	113,748,750

## (3) 経営資本（年度期首期末平均）

(単位：千円)

項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔経営資本〕 E-c-(d-2)-(d-3) E-(d-2)-(d-3)-e (H20～)	91,131,682	87,049,559	100,184,552
	R4・R5年度		R5・R6年度
	期首+期末の平均	87,228,449	93,617,056
項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔固定負債・純資産合計〕 G+g	94,675,979	91,864,268	108,002,663

## 【比較表】

	選定時		R5年度		R6年度		ランク比較
	比率等	得点	比率等	得点	比率等	得点	
経営資本営業利益率 (%)	3.43	2	2.39	1	2.41	1	下回
経営資本回転率 (回)	0.21	1	0.21	1	0.20	1	同等
売上高営業利益率 (%)	16.47	5	11.38	5	11.83	5	同等
流動比率 (%)	481.00	5	649.00	5	945.81	5	同等
自己資本比率 (%)	58.78	5	67.60	5	72.67	5	同等
固定資産長期資本比率 (%)	76.19	3	65.92	4	55.00	4	上回

## 【ランク表】

	算出結果範囲				
	ランク				
経営資本営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
経営資本回転率	～0.5	0.5～0.8	0.8～1.2	1.2～2.2	2.2～
	1	2	3	4	5
売上高営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
流動比率	～70	70～90	90～120	120～200	200～
	1	2	3	4	5
自己資本比率	～25	25～35	35～45	45～55	55～
	1	2	3	4	5
固定資産長期資本比率	95～	95～85	85～75	75～65	65～
	1	2	3	4	5

■ 事業者の財務状況の確認

【資料4】

対象施設		東京国際クルーズふ頭	指定管理者	東京国際クルーズターミナル グループ (株式会社シミズオクト)
確認項目	確認内容	意見・検討内容等		
事業者 財務 状況	経営資本営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	経営資本回転率 (回)	率は選定時を下回っており、ランクは選定時を上回っている。		
	売上高営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	流動比率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	自己資本比率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	固定資産長期資本比率 (%)	率は選定時を下回っており、ランクは選定時を上回っている。		
	総評	令和6年度も選定時（令和元年度）同様に、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。		

## (1) 損益計算書 (株式会社シミズオクト 損益計算書)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
売上高 (営業収益) A	41,968,152	39,675,976	45,301,667
売上原価 (営業費用) B	26,421,168	25,227,491	28,500,912
販売費及び一般管理費 C	14,004,660	12,272,714	13,542,333
〔営業利益〕 D=(A-(B+C))	1,542,322	2,175,770	3,258,421

## (2) 貸借対照表 (株式会社シミズオクト 貸借対照表)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
流動資産 a	13,539,921	17,488,884	19,595,093
事業資産 b			
事業資産建設仮勘定 c			
固定資産 d	13,145,995	5,138,633	5,589,060
うち建設仮勘定 d-2	281,421	191,002	210,511
うち投資その他の資産 d-3	802,187	2,887,534	2,759,229
繰延資産 e	0	0	0
〔資産の部 計〕 E=(a+b+c+d+e) E=(a+d+e) (H20～)	26,685,916	22,627,517	25,184,153
流動負債 f	11,443,931	10,522,688	10,762,131
固定負債 g	7,090,420	1,438,817	1,240,426
引当金 h	390,052	919,510	1,003,229
〔負債の部 計〕 F=(f+g+h) F=(f+g) (H20～)	18,924,404	12,881,016	13,005,787
資本金 i	430,000	100,000	100,000
羽田沖浅場維持管理基金 j			
資本剰余金 l	19,504	9,646,500	349,504
利益剰余金 k	7,312,008	9,296,996	11,728,861
評価・換算差額等その他 n	0	0	0
〔純資産の部 計〕 G=(i+j+k) G=(i+l+k+n) (H20～)	7,761,512	19,043,496	12,178,366
〔負債・純資産の部 計〕 H=(F+G)	26,685,916	31,924,512	25,184,153

(3) 経営資本（年度期首期末平均）

（単位：千円）

項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔経営資本〕 E-c-(d-2)-(d-3) E-(d-2)-(d-3)-e (H20～)	25,602,308	19,548,981	22,214,413
		R4-R5年度	R5-R6年度
	期首+期末の平均	18,633,218	20,881,697
項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔固定負債・純資産合計〕 G+g	14,851,932	20,482,313	13,418,792

【比較表】

	選定時		R6年度		ランク比較
	比率等	得点	比率等	得点	
経営資本営業利益率 (%)	8.28	1	15.60	5	上回
経営資本回転率 (回)	2.25	2	2.17	4	上回
売上高営業利益率 (%)	3.67	3	7.19	4	上回
流動比率 (%)	118.32	3	182.07	4	上回
自己資本比率 (%)	29.08	2	48.36	5	上回
固定資産長期資本比率 (%)	88.51	2	41.65	5	上回

【ランク表】

	算出結果範囲 ランク				
	1	2	3	4	5
経営資本営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
経営資本回転率	～0.5	0.5～0.8	0.8～1.2	1.2～2.2	2.2～
	1	2	3	4	5
売上高営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
流動比率	～70	70～90	90～120	120～200	200～
	1	2	3	4	5
自己資本比率	～25	25～35	35～45	45～55	55～
	1	2	3	4	5
固定資産長期資本比率	95～	95～85	85～75	75～65	65～
	1	2	3	4	5

■ 事業者の財務状況の確認

【資料4】

対象施設		東京国際クルーズふ頭	指定管理者	東京国際クルーズターミナル グループ (日本空港ビルデング株式会社)
確認項目	確認内容	意見・検討内容等		
事業者 財務 状況	経営資本営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	経営資本回転率 (回)	率、ランクとも選定時に対し、下回っている。		
	売上高営業利益率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	流動比率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	自己資本比率 (%)	率、ランクとも選定時に対し、上回っている。		
	固定資産長期資本比率 (%)	率は選定時を下回っており、ランクは選定時を上回っている。		
	総 評	令和6年度も選定時（令和元年度）同様に、港湾施設の管理運営事業を行うに当たり、財務状況による支障等は見受けられない。		

## (1) 損益計算書 (日本空港ビルディング株式会社 損益計算書)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
売上高 (営業収益) A	174,269,000	143,354,000	171,658,000
売上原価 (営業費用) B	86,426,000	46,297,000	56,743,000
販売費及び一般管理費 C	87,371,000	81,400,000	100,212,000
〔営業利益〕 D=(A-(B+C))	471,000	15,656,000	14,702,000

## (2) 貸借対照表 (日本空港ビルディング株式会社 貸借対照表)

(単位：千円)

科 目 (項目)	R1年度 (選定時)	R5年度	R6年度
流動資産 a	48,048,000	103,799,000	113,571,000
事業資産 b			
事業資産建設仮勘定 c			
固定資産 d	234,377,000	223,836,000	232,813,000
うち建設仮勘定 d-2	2,807,000	29,423,000	15,724,000
うち投資その他の資産 d-3	58,509,000	67,121,000	69,057,000
繰延資産 e	0	0	0
〔資産の部 計〕 E=(a+b+c+d+e) E=(a+d+e) (H20～)	282,426,000	327,636,000	346,384,000
流動負債 f	60,754,000	83,936,000	91,795,000
固定負債 g	120,841,000	91,755,000	100,101,000
引当金 h			
〔負債の部 計〕 F=(f+g+h) F=(f+g) (H20～)	181,596,000	175,692,000	191,896,000
資本金 i	17,489,000	38,126,000	38,126,000
羽田沖浅場維持管理基金 j			
資本剰余金 l	21,309,000	54,131,000	54,131,000
利益剰余金 k	61,692,000	57,062,000	61,091,000
評価・換算差額等その他 n	3,587,000	2,636,000	2,791,000
〔純資産の部 計〕 G=(i+j+k) G=(i+l+k+n) (H20～)	100,830,000	151,944,000	154,487,000
〔負債・純資産の部 計〕 H=(F+G)	282,426,000	327,636,000	346,384,000

(3) 経営資本（年度期首期末平均）

（単位：千円）

項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔経営資本〕 E-c-(d-2)-(d-3) E-(d-2)-(d-3)-e (H20～)	221,110,000	231,092,000	261,603,000
		R4-R5年度	R5-R6年度
	期首+期末の平均	232,072,500	246,347,500
項目	R1年度（選定時）	R5年度	R6年度
〔固定負債・純資産合計〕 G+g	221,671,000	243,699,000	254,588,000

【比較表】

	選定時		R6年度		ランク比較
	比率等	得点	比率等	得点	
経営資本営業利益率 (%)	0.20	1	5.97	5	上回
経営資本回転率 (回)	0.75	3	0.70	2	下回
売上高営業利益率 (%)	0.27	1	8.56	5	上回
流動比率 (%)	79.09	2	123.72	4	上回
自己資本比率 (%)	35.70	3	44.60	4	上回
固定資産長期資本比率 (%)	105.73	1	91.45	2	上回

【ランク表】

	算出結果範囲 ランク				
	1	2	3	4	5
経営資本営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
経営資本回転率	～0.5	0.5～0.8	0.8～1.2	1.2～2.2	2.2～
	1	2	3	4	5
売上高営業利益率	～2.5	2.5～3.5	3.5～4.5	4.5～5.5	5.5～
	1	2	3	4	5
流動比率	～70	70～90	90～120	120～200	200～
	1	2	3	4	5
自己資本比率	～25	25～35	35～45	45～55	55～
	1	2	3	4	5
固定資産長期資本比率	95～	95～85	85～75	75～65	65～
	1	2	3	4	5